

このたび日立照明信号増幅器をお求め頂き誠に有り難うございました。この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。尚、お読みになった後は、お客様にお渡し頂き大切に保存くださるようお願いいたします。

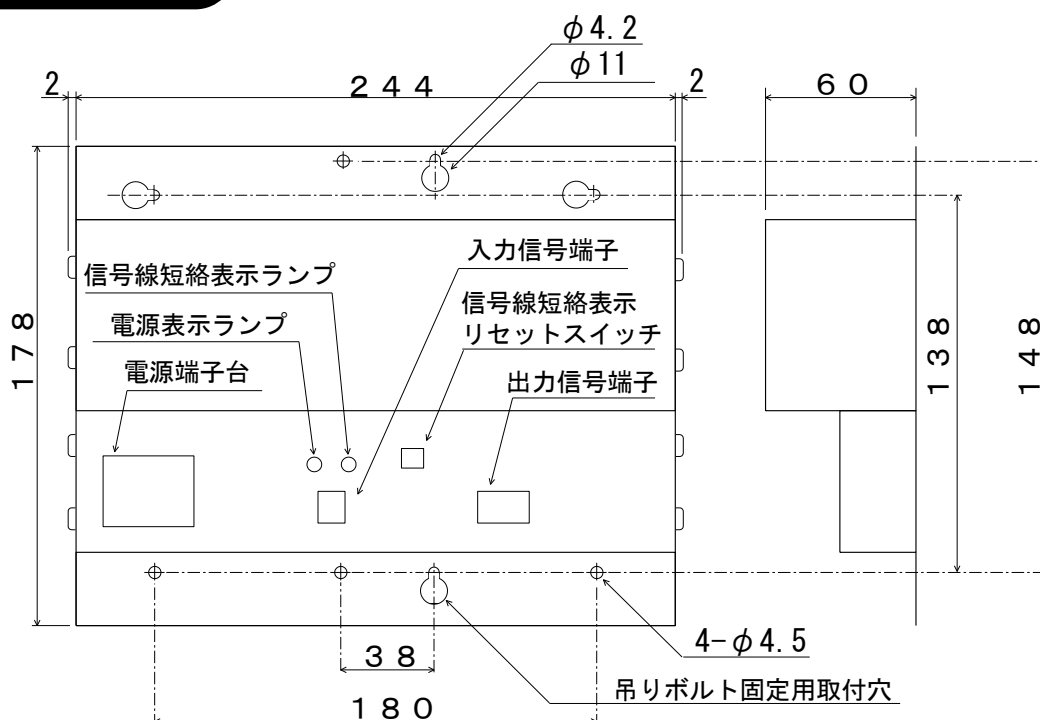
1. 概要

本増幅器は、制御装置の調光信号を受けて信号を増幅出力する装置で、信号伝達距離を延ばす場合及び制御台数を増加させるために使用します。

2. 仕様

- 1) 電 源 : 200V 50/60Hz(入力電力:8W)
- 2) 制御回路 : 1回路(制御台数:最大100台)
- 3) 入出力信号 : DC10V 1kHz PWMデューティ信号
- 4) 信号配線長 : 最遠配線長200m(調光信号線: $\phi 1.2$ CPEV-1P)
- 5) 使用環境 : 周囲温度:0~35℃ 湿度:85%以下 但し、結露無きこと

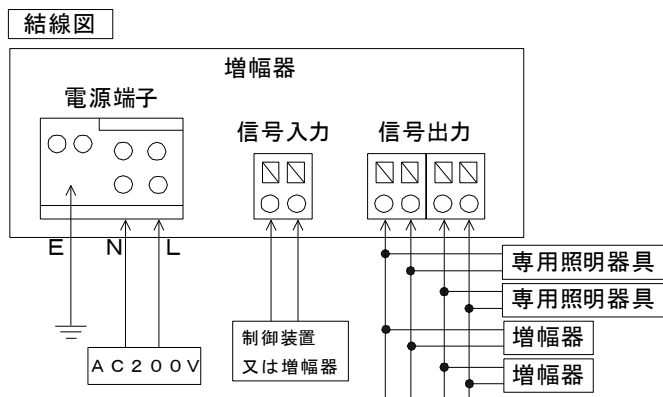
3. 寸法図



(吊りボルト固定金具はネグロス電工(株)製の
TPC-4B,MSRB4等をご使用ください。)

4. 結線方法および動作確認

4.1 結線図



* 増幅器は制御装置の負荷で電子安定器1台分相当

* 増幅器の連結配線長は100～200mとしてください。

4.2 信号線配線について

信号線配線1分岐での接続器具台数の目安

* 110W器具の場合

1分岐の接続台数=200m/約2.4m(器具長さ)
=最大80台/分岐

* 40W器具の場合

1分岐の接続台数=200m/約1.2m(器具長さ)
=最大100台/分岐

4.3 動作確認

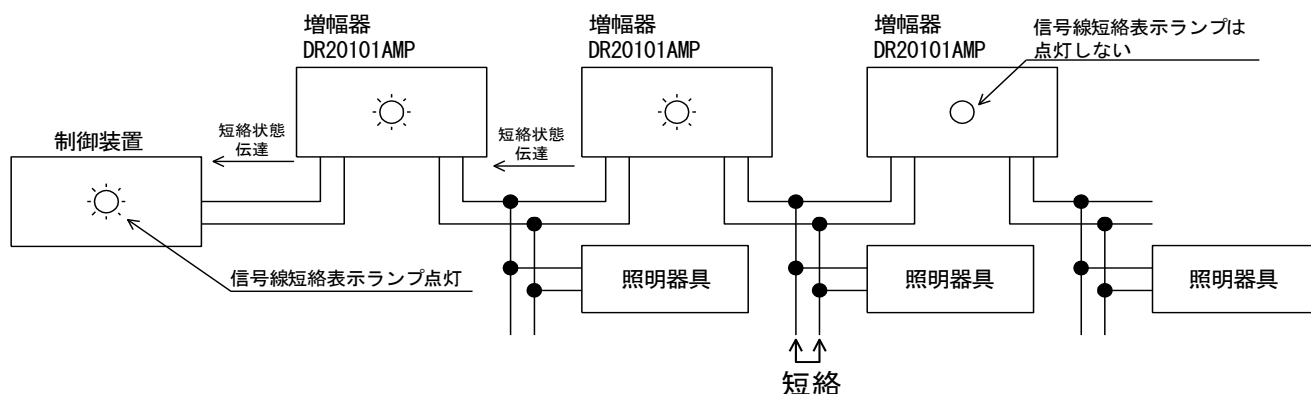
信号線配線後は照明器具が正常に調光動作することを必ず全数確認してください。

インバータが調光動作しない場合

過電流保護表示	原因
点灯	信号線短絡、又は規定接続台数以上の器具取付
消灯	信号線が接続されていない

* 調光動作しない場合は電源をオフし、信号線の接続及び接続台数を確認してください。

* 信号線短絡表示が点灯した場合、本増幅器の入力信号端子側に接続されている全ての増幅器及び制御装置の信号線短絡表示が点灯しますので、一度全ての電源を落して表示をリセットしてください。また、リセットスイッチで表示をリセットする場合は、制御装置から最遠の増幅器から順次リセットし、最後に制御装置をリセットしてください。



* 制御装置及び増幅器からの信号が無い場合、照明器具は100%の明るさで点灯します。

* 増幅器 DR20501AMP には信号短絡状態を入力端子側へ伝達する機能は付加されておりません。

5. その他

- 1) 信号線には極性が有りません。
- 2) 当社4線式調光形照明器具及び制御盤以外の器具を接続しないでください。
- 3) 本体はアース端子よりD種接地工事を施してください。

 日立グローバルライフソリューションズ(株)

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03)3502-2111

2-J4582-1A(R1)